

令和5年度第1回 旭川市民文化会館運営審議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年9月1日（金） 18：30～20：40
- 2 開催場所 旭川市民文化会館 2階 第2会議室（旭川市7条通9丁目）
- 3 出席者 **【委員】** 12名
浅井委員, 大島委員, 鎌田委員, 小林委員, 齐川委員, 佐藤（淳）委員, 茂田委員, 富田委員,
平間委員, 宮田委員, 目黒委員, 山口委員
【事務局】 5名
（社会教育部）佐藤部長（文化振興課）松里課長
（市民文化会館）長岡館長, 鈴木主査, 今村主査
- 4 欠席者 **【委員】** 3名
木幡委員, 佐藤（淳一）委員, 山本委員
- 5 傍聴者等 0名
- 6 議 題
 - （1）令和4年度市民文化会館利用状況等について
 - （2）令和4年度市民文化会館決算見込概要等について
 - （3）令和5年度市民文化会館予算概要等について
 - （4）令和4年度自主文化事業実績等及び令和5年度自主文化事業概要等について
 - （5）その他
- 7 資 料
令和5年度第1回旭川市民文化会館運営審議会議案書
- 8 会議録（要点） 別紙のとおり
- 9 その他
開会に先立ち、午後6時30分から開催場所にて、社会教育部長より出席委員に対し委嘱状を交付。

会議録（要点）

1 開会

会長選出まで事務局が司会進行。

事務局から本審議会の設置根拠、役割、委員数、会長・副会長の選出方法、会議の公開及び議事録の公表等について説明するとともに、本日の会議には委員の過半数が出席しており成立していることを報告。

2 社会教育部長挨拶（内容）

市民文化会館は、昨年度まで新型コロナウイルスの影響を強く受けていたが、今後は、コロナ前のように文化・芸術分野の大規模催事を支える重要施設として機能することを期待していること。

一方、市民文化会館は令和7年2月に開館50周年を迎え、長きに渡って本市だけでなく道北圏の文化・芸術の振興・発展を支えてきたが、施設の老朽化は顕著であること。

現在、別の会議で施設の建替えに向けた検討を進めているが、新しい施設への移行は、現在の文化会館の運営が安全かつ安定的なもので、市民にとって重要な施設であるという位置付けがあって、実現できるものであること。

ついては、このような視点のもと、市民文化会館の運営がより良くなるよう委員の皆様方に御協力・御尽力をお願いしたい旨の内容。

3 委員自己紹介

五十音順に委員自己紹介。その後、事務局の自己紹介。

4 会長・副会長選出

出席委員から会長・副会長へ立候補する者がおらず、事務局からの会長・副会長候補者の提案について、出席委員から了承を得られたことから、会長候補として浅井委員を、副会長候補として佐藤淳一委員を提案。

両候補者について、出席委員からの異議はなかったことから、会長に浅井委員、副会長に佐藤淳一委員を決定し、浅井会長の就任挨拶を経て、以後、浅井会長が議事進行。

5 議題

(1) 令和4年度市民文化会館利用状況等について

事務局からの資料に基づく説明後、質疑応答等を経て、本審議会への報告を終了した。

なお、主な質疑応答等の要点は次のとおり。

<委員>

小ホールの利用件数と利用率の推移に整合性が見受けられない。同じことは展示室にも言える。

また、過去5年間の会議室の利用日数の推移（4-3の表）における合計値は、なぜ単純な縦計ではないのか。

<事務局>

利用件数と利用率の計算方法が異なるため、利用件数が増加したとしても利用率も高くなるとは限らず、利用率計算で用いる利用可能日数も工事等の影響で変動する場合もある。

また、利用率について、利用日数を利用可能日数で割り返して算出しており、利用時間区分単位での算出ではないことも影響している。(1日のうち1件でも利用があれば利用日数としてカウント、1日に2件利用があっても1日でカウント)

なお、過去5年間の会議室の利用日数の推移における合計値については、単なる誤りなのか確認して、以後、何らかの形でお示ししたい。

利用件数はイベント数そのものの件数で、数日にわたる大規模催事も半日だけの催事も同じく1件としてカウントされる。そのため大規模催事の利用が増えると利用件数としては少なくなるものの、利用率は高くなり、逆に小規模催事が増えると利用件数としては多くなるが、利用率は低くなる傾向となる。

<委員>

資料では利用率等、年ベースのものしかないが、月別のものであるのか。

<事務局>

書類も膨大になるので、本会議の資料には掲載していないが、月別の利用率等も業務の中で確認している。

<委員>

市民が利用しやすいよう会館の月ごとの使用状況を示してはどうか。

<事務局>

9月～11月は会館利用の申込みが多い傾向にあるが、市民文化会館の利用申込状況については、1年後までホームページで公開している。

市民は、それで空き状況を確認して、利用の申込みをすることとなるが、利用申込みがしやすくなるような方策は今後も検討していきたい。

<委員>

稼働率の低い会議室もあると思うが利用促進策はあるか。

<事務局>

部屋によっては、その特性もあり、稼働率が伸び悩む部屋もある。

(2) 令和4年度市民文化会館決算見込概要等について

事務局からの資料に基づく説明後、特に質疑応答等はなく、本審議会への報告を終了した。

(3) 令和5年度市民文化会館予算概要等について

事務局からの資料に基づく説明後、質疑応答等を経て、本審議会への報告を終了した。

なお、主な質疑応答等の要点は次のとおり。

<委員>

自主文化事業費の主な増減要素において、実施予定内容の違いによる委託料の減等とあるが、もう少し詳しく教えてほしい。

<事務局>

令和5年度は宝くじまちの音楽会という、宝くじ事業を取り扱っている団体からの助成を受け実施する公演を11月に予定している。

通常、買取型公演を自主文化事業として実施する場合、公演に係る費用を公演団体へ委託料として支払い、その公演に係る入場券の売払収入は全額市の歳入となるが、この宝くじの助成を受けて実施する事業は、公演に係る委託料が発生しないかわりに、入場券の売払収入は市と宝くじの団体で折半することとなる。

また、その入場料金も宝くじの助成を受けているため、通常よりかなり安い価格となっている。

<委員>

令和5年度の歳入予算から電話料収入が別建てとなっているがなぜか。

<事務局>

館内の公衆電話収入については、令和4年度まで、その他の収入として計上していたが、令和5年度から事務処理上の都合で切り分けたものである。

<委員>

市民文化会館は古い施設だが、緊急的な修繕等はどうしているのか。

<事務局>

館内の各種設備等の保守点検に係る費用や突発的な緊急修繕費用を文化会館管理費で予算措置している。

また、抜本的な改修や大規模な改修を要するものについては、文化会館改修費で予算措置している。

その他、緊急的な修繕等が必要になった場合は、予算をやり繰りして対応している。

<委員>

普通の会社で言うところの貸し倒れ（市民文化会館使用料）は発生していないのか。

<事務局>

文化会館の使用料は原則前納で、一定の要件を満たす信用できる団体のみ一部後納を認めているため、ここ数年、未納は発生していない状況である。

(4) 令和4年度自主文化事業実績等及び令和5年度自主文化事業概要等について

事務局からの資料に基づく説明後、質疑応答等を経て、本審議会への報告を終了した。

なお、主な質疑応答等の要点は次のとおり。

<委員>

自主文化事業選定における市民の声の拾い方はどのようにしているか。選定はどのような組織がされている

のか。

<事務局>

市民の声については公演実施後のアンケート結果で把握している。事業選定の組織は特にないため、市民文化会館の方で、過去の実施内容や集客状況等を考慮して選定している。

<委員>

時代を考えると市の広報やホームページで市民の意見を聴くことも検討してはどうか。

また、買取型公演の費用は多額なことから、選定組織がないのもどうかと思う。

率直な意見として、一つの自主文化事業の収支で200万円を超える赤字はいかがなものか。

市民の声を拾い上げる方法をもう一度考え直してほしいし、この赤字になった事業は、その宣伝の方法に問題があったのか、そもそもの選定に問題があったのか振り返りが必要ではないか。

ちなみに、今年のキーウ・クラシック・バレエの委託費はいかほどなのか。

<事務局>



※旭川市委託及び賃貸借契約に係る入札結果等の公表要綱第2条第1項ただし書に基づき契約結果の公表を差し控えている情報のため議事録上は表示しない。

<委員>

毎年、有料の自主文化事業は3つ程度実施していたと思うが、令和4年度に予定していた夢てんと事業がコロナで中止になり、その後、事業の継続が難しくなったと聴いている。

何か、ファミリーコンサート等、子ども向けの事業は期待できないものか。

<事務局>

今後の自主文化事業の選定において、子ども向けの公演も検討していきたい。

<委員>

自主文化事業費の予算は削られているのか。

<事務局>

自主文化事業は収支を考慮しているため、黒字が絶対に見込まれる事業ばかりなら増やすこともできるが、そのような事業ばかりではないため、このような予算になっている。

<委員>

自主文化事業で他都市との共催等を調整するような機関はあるのだろうか。

<事務局>

自主文化事業の共同開催を連絡・調整するような機関は文化ホールの分野ではないが、興行主やプロモーターが中心となって、複数の文化ホールに呼び掛けして、公演ツアーや共催を企画することはある。例えばバレエなどは同時期に複数の道内文化ホールで公演することによって道内公演ツアーが組まれることもある。

<委 員>

令和 6 年度の自主文化事業は 11 月の会議で説明があるとのことだが、その時に意見を言って反映されるものなのか。

<事務局>

予算編成の問題もあり直ぐに反映できるものではないので、反映するとしても、それ以後の自主文化事業の選定時となる。

(5) その他について

事務局から、今年度の市民文化会館及び大雪クリスタルホールの自主文化事業の PR 等について、協力を要請した。

6 その他

議題審議終了後、事務局から次回会議の日程等について連絡し、委員から次の事項についての要望・質問があった。

<委 員>

会館の利用申込方法を簡素化できるよう Web 申請の方法も検討願いたい。

また、会館の利用方法について他館の状況も情報収集して、より使いやすい施設となってほしい。(1 日借りた場合の施設の利用方法等)

<委 員>

ヴォレアスのホームアリーナと文化会館大ホールとの関係について。

<委 員>

文化会館建替えの進捗状況について。

<委 員>

文化会館展示室へ市民ギャラリーの照明を融通することの可能性について。

7 閉会